

石狩大地の会とは？

2001年8月、石狩市で「北海道手をつなぐ育成会全道大会」が開催されたことをきっかけに、障がいを持つ当事者の会として結成され、現在は34人が活動しています。

大地の会には話すことが得意な方がいる一方で、苦手な方や、会話が難しい方もいます。

障がい者とどう接したらいいかわからない方もいると思いますが、特別な扱いをせず、一人の市民としてあいさつなどをしてほしいです。

私たちは困り事があった際に手伝ってほしいだけでなく、皆さんが困っていたら、私たちにできることはお手伝いします。

同じ石狩市民として助け合っていきましょう！

トラブルシューターに関するパネル展示と障がいに関する書籍ミニコーナー

日 3(金)～9(木) ※6(月) 除く
所 市民図書館(花川北7・1)
図 石狩市地域自立支援協議会事務局
(相談支援センターぷろっぷ内) ☎72・6137



石狩大地の会



福江彰会長

大矢和子副会長
(石狩市地域自立支援協議会会長)

高橋広也副会長

主な活動

- カローリング大会の実行委員
- 地域貢献活動として石狩浜のごみ拾い
- 認知症の方と一緒に「注文を間違えるレストラン」への参加
- 会員の親睦会、ほかの当事者の会との交流
- 認知症を学ぶ学習会
- 市長との懇談会 など



石狩浜のごみ拾い



カローリング大会



市長との懇談会

12/3～9は障害者週間

内閣府では、3日の「国際障害者デー」から9日の「障害者の日」までを障害者週間と位置づけています。今回は、障がいのある方や周りの方をトラブルから守り、支援する**トラブルシューター(TS)**と、これを広める活動を行う**石狩大地の会**をご紹介します。

図障がい福祉課☎72・3194

トラブルシューターってなあに？

知的障がい・発達障がいのある方の中には、自分の思いがうまく伝えられなかったり、こだわりが強くなってしまったり、

これは障がいの特性によるものですが、周囲の理解が得られにくいことも多く、時にはそれが誤解を生み、トラブルになることもあります。

トラブルシューターとは、そういった問題を本人や家族と一緒に考えて解決したり、周囲の方の理解や協力を得てトラブルを未然に防ぐ取り組みを行う方々です。

「困ったことをする人」は、実はどうしたら良いかわからず、そのような行動をしよう「困っている人」なのかもしれません。



トラブルシューター世話人会と石狩大地の会

石狩市には福祉施設職員などで結成された「石狩トラブルシューター世話人会」があり、まだ規模は小さいですが、トラブルシューターとしての取り組みを行っています。

また、知的障がいのある方で結成された「石狩大地の会」は、石狩トラブルシューター世話人会と一緒に、トラブル予防のための学習会を定期的に行っており、この取り組みを広める活動をしています。

ほとんどの方が「トラブルシューター」という言葉を初めて目にすると思いますが、どのようなのかを知っていただき、障がいの特性を正しく理解し、生きづらさに寄り添った行動をする

ことで、誰もが安心して暮らせるまちづくりへの第一歩になるかもしれません。

皆さんで「トラブルシューターの輪」を広げていきませんか？

トラブルシューターについての学習会

石狩大地の会では、2019年からさまざまなトラブル予防のテーマで学習会をしています。例えば、「仲間との会話」「友人への電話の掛け方」「職場での会話」などのコミュニケーションや、「自転車の乗り方」「いじめ」などのテーマで、相手の気持ちになって演じる学習、トラブルを未然に防ぐための考え方などを勉強しています。

図 石狩トラブルシューター世話会(石狩大地の会事務局) 地域活動支援センターえみな ☎77・6616